

議長／皆さんおはようございます。

ただいまより平成30年9月武雄市議会定例会を開会いたします。

これより直ちに本日の会議を開きます。

市長から提出されました第72号議案から第79号議案までの8議案及び報告11号の1件を一括上程いたします。

日程第1．会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期等に関し、議会運営委員会に諮問をいたしておりましたので、これに対する議会運営委員長の答申を求めます。

末藤議会運営委員長

末藤議会運営委員長／おはようございます。

平成30年9月武雄市議会定例会の招集に基づきまして、議長から諮問がありましたので、8月31日、議会運営委員会を開催し、協議いたしました結果について御報告を申し上げます。議長から諮問がありました事項は、第1．会期及び会期日程について、第2．付議事件の審議順序及び委員会付託の要否について、第3．一般質問の質問順序について、第4．決算認定議案の取り扱いについて、以上4項目でございます。

本定例会において審議すべき議案等は、ただいま議長から上程になりました、承認議案2件、条例議案1件、事件議案1件、予算議案4件、報告事項1件の9件でございます。

なお、追加議案等として、事件議案2件、決算認定議案9件、報告事項2件、人事案件2件が予定されております。

次に、議案の審議順序及び委員会付託の要否についてでございます。

議案番号順に審議を行い、第72号議案及び第73号議案 専決処分の承認については、所管の常任委員会の付託を省略し、即決して差し支えないものとし、第76号議案 平成30年度武雄市一般会計補正予算（第5回）につきましても、所管の常任委員会に分割付託をして、その他の議案につきましても、決算認定議案を除き、所管の常任委員会に付託することで、意見の一致を見ました。

また、追加を予定されている決算認定議案の取り扱いにつきましても、一般会計決算審査特別委員会と特別会計等決算審査特別委員会を設置することとし、一般会計決算審査特別委員会には一般会計決算認定議案を、特別会計等決算審査特別委員会には水道事業会計ほか2件の企業会計と、国民健康保険特別会計ほか4件の特別会計決算認定議案を、それぞれ付託の上、閉会中の継続審査に付することで、意見の一致を見ました。

次に、一般質問でございます。

14名の議員から44項目の通告がなされており、質問順序の抽選結果はお手元に配付のとおりでございます。

10日から13日まで4日間の日程とし、抽選結果の順に、10日、11日は4名ずつ、12日、13日は3名ずつ行うとして、いずれも午前9時開議とすることに決定いたしました。

質問時間については、答弁を含め60分でございます。

以上のことを考慮し、検討いたしました結果、会期は、本日3日から21日までの19日間が適当である旨、決定をいたしました。

なお、日程等の詳細については、お手元に配付のとおりでございます。

答申は以上でございます。

議長／お諮りいたします。

会期の決定につきましては、ただいまの議会運営委員長の答申のとおり、本日3日から21日までの19日間と決定をいたしたいと思っております。

これに御異議ございませんか。

> 「異議なし」の声

御異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日3日から21日までの19日間とすることに決定をいたしました。

日程第2．会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、武雄市議会会議規則第88条の規定により、3番猪村議員、6番吉原議員、9番吉川議員の以上3名を指名いたします。

日程第3．議長の諸報告を申し上げます。

議長の諸報告は、お手元に配付しております文書をもって報告にかえさせていただきます。

日程第4．市長の提案事項に関する説明を求めます。

小松市長

小松市長／おはようございます。

私より、提案事項の説明をさせていただきます。

まず、安全安心なまちづくりについてであります。

「平成30年7月豪雨」におきまして、台風や梅雨前線の影響によって、西日本を中心に記録的な大雨となり、各地で甚大な被害が発生しました。

今なお多くの方々が避難生活を余儀なくされていることに対し、心よりお見舞い申し上げます。

この豪雨により甚大な被害を受けた地域を支援するため、8月13日から職員を交代で岡山県

倉敷市に派遣し、避難所の運営補助等の支援活動を行っており、今後も募金箱の設置とあわせ、被災地支援を継続してまいります。

本市においても、この豪雨により、農地、シドウ(?)等への被害が多く発生し、スピード感をもって応急復旧対応に取り組んでまいりました。

本議会にもノウズイン(?)関係で95カ所、土木関係で30カ所の復旧予算を計上しており、迅速な復旧に引き続き最優先で取り組んでまいります。

また、6月の「大阪北部地震」により大阪府で発生したブロック塀の倒壊事故を受け、市内小中学校のブロック塀の安全点検を行い、撤去等の対応を早急に実施いたしました。

昨日、大規模災害を想定し、陸上自衛隊等と連携して市の総合防災訓練を実施いたしました。いつ起こるかわからない災害への対応を確実にを行うためには、行政、地域及び市民が一体となった防災訓練が必要不可欠であります。

安心安全はまちづくりの根幹であります。

今後も、さらに自主防災組織との連携強化を図り、避難訓練、出前講座等を通して地域の防災力を高め、災害に強い安全安心なまちを目指します。

高齢者福祉についてであります。

高齢者福祉は、今年度の最重要施策であります。

本市においても高齢化が進む中、しっかりとした介護サービスを提供する環境を整えるとともに、介護職員の業務負担の軽減を図るため、市内の介護施設等に就職した方に対する就職支援補助制度を創設したいと考えております。

3億円の高齢者福祉パッケージにつきましては、今年度中に満75歳以上となる市民の方を対象に、「お出かけ応援券」の交付及び「たっしゃか商品券」の販売を行っておりますので、ぜひ御利用ください。

また、高齢者の生きがいづくり、健康づくりの拠点としての機能強化を図るため、老人福祉センター「日輪荘」及び「長寿園」の改修を進めており、10月に利用開始される予定であります。

また、高齢者が可能な限り自分が望む場所で最後まで幸せに暮らし続けることができる「地域包括ケアシステム」の構築に向け、新たに武雄町で、町単位の協議体とコーディネーターの設置が完了しました。

これで、市内3町で設置が完了し、今年度中に9町すべてに設置する予定です。

昨年度に設置した朝日町と西川登町では、先進地視察、住民へのアンケート調査等を行い、生活支援、介護予防等の活動に向けた準備を進めております。

こういった取り組みを着実に前へ進めることで、幾つになっても安心して生き生きと住み続けられるまちを目指します。

雇用の創出についてであります。

雇用の創出・確保は、市民一人一人の暮らしの安心をつくる上で、また、定住、移住を進める上で、そして、地域経済の活性化を通じて市民福祉の向上を図り、それがまた地域の活性化につながるという、いわば「経済と福祉の好循環」をつくる上で非常に重要であります。

8月22日、本市と民間4団体で構成する武雄市地域雇用創造協議会を主体として、ハローワーク武雄と共同で「企業合同求人説明会」を開催しました。

製造業、建設業、医療、福祉等多くの業種から、昨年度を大きく上回る46の企業に御参加いただき、104名の求職者と面談が行われました。

今後、10月には介護職に特化した合同求人説明会を、12月にはシニア世代を対象とした「働きたいシニアのための合同説明会」を開催いたします。

また、障がい者の雇用促進に向けて、10月に障がい者雇用に関する事業所向け説明会を開催するとともに、年度内に障がい者のための合同求人説明会を開催予定です。

このように、求職者、事業者それぞれの状況に応じたマッチング等の取り組みを、佐賀県やハローワーク武雄等の関係機関と組んで、きめ細かく行うことにより、官民一体で市民のさらなる雇用創出と所得向上を図ります。

「西九州のハブ都市」に向けた取り組みについてであります。

本市は、古くから交通の要衝として栄えてきました。

約30年前には、高速道路の開通を機に交流人口がふえ、まちが活性化してきた経緯があります。

九州新幹線西九州ルートの開通は、本市にとって次の大きな交通変革であり、開通までいよいよあと4年となってきております。

交通の結節点は、交流の結節点でもあります。

西九州の観光に便利な「都市ハブ都市」に向け、長崎空港からの近さをアピールし、佐賀県西部地区の玄関口として西からのさらなる誘客を図るため、9月14日から40日間、長崎空港と本市をつなぐ予約制乗合タクシー「武雄温泉すいすいタクシー」の試験運行を実施いたします。

期間中、「武雄のあかり展」等が開催されており、長崎空港から本市への利用者に対し、市内の宿泊施設で利用可能な宿泊クーポン券を配布することで、市内での宿泊につなげます。

また、官民一体となることができる取り組みを整理し、今後のまちづくりにつなげていくため、新幹線活用プロジェクトにおいてワークショップを開始いたしました。

今後、観光、移住等をテーマに意見交換を進め、実行につなげてまいります。

また、武雄温泉駅高架下の活用を含めた駅周辺の整備等にも引き続き力を入れ、「西九州のハブ都市」としてふさわしい便利さと楽しさを兼ね備えたまちづくりを官民一体で加速してまいります。

子育て・教育についてであります。

8月、秋田市での竿燈まつり開催期間にあわせ、市内の小学生20名を秋田市に派遣いたしました。

現地では、地元の小学生との交流、葉隠墓苑の参拝等を行い、本市と秋田市との歴史的なつながりを理解するとともに、5月に開催した「秋田竿燈まつりIN武雄」を通して深まった秋田市との関係をさらに深めてまいりました。

子どもたちからは、武雄の人のために秋田の人がお墓を建て、今も秋田の方々が守ってくださることがわかり、感謝の気持ちだとか、秋田の方々の真心は一生忘れませんといった感想が寄せられ、意義深い交流になったと考えます。

今後も、私たちの郷土の歴史を知る機会をつくるとともに、秋田市との絆をしっかりと後世に引き継いでまいります。

10月5日を市立小中学校の休業日とし、この日から4日間、県内初となる「キッズウィーク」を実施いたします。

この期間について、企業等の協力を得ながら保護者の有給休暇取得を促進し、家族で過ごせる機会を創出いたします。

期間中、こども図書館1周年記念イベント、職場体験ツアー等を実施し、家族や、おじいちゃん、おばあちゃんも含めた多世代で出かけられるきっかけをつくることで、家族の絆を深め、地域愛を育むことにつなげます。

共働き世帯の増加により、0、1、2歳児の保育や、延長保育のニーズが高まるなど、保育ニーズが多様化しております。

そうした中、待機児童の発生を未然に防止するとともに、多様な保育ニーズに柔軟に対応するため、市内の保育施設等に就職した保育士等に対する就職支援補助制度を創設したいと考えております。

今後も、子育て・教育環境のさらなる充実を図り、「武雄で子どもを産み育てたい」と思えるまち、好きな武雄でずっと住み続けたいと若者が思えるまちを目指してまいります。

以上、今後もさらに一層、市民の福祉向上に努めてまいりたいと考えておりますので、議員各位の御理解・御協力を切にお願い申し上げます、私の提案事項説明とさせていただきます。

本議会もどうぞよろしく願いいたします。

議長／北川副市長

北川副市長／おはようございます。

今定例会に提出しております議案について、その概要を御説明申し上げます。

条例議案では、地方税法等の一部改正に伴う「武雄市税条例等の一部を改正する条例」を提案いたしております。

次に、事件議案では、地方自治法の規定に基づく、武雄北部土地区画整理事業区域の「字の区域の変更について」を提案しております。

続きまして、予算議案について御説明いたします。

今回の補正は、6月補正予算編成後に生じた事由により速やかに対応すべき災害関連経費等について補正をお願いしております。

まず、一般会計補正予算では、7月の台風・梅雨前線豪雨により発生した災害の復旧に要する経費や、介護職員・保育士等の就労支援のための補助金、田畑におけるイノシシ等の侵入防止柵の整備に対する補助金、北方町西堤ため池における排水施設改修にかかる経費、市内体育施設の維持補修に係る工事費などを計上いたしております。

その他の補正予算では、2件の特別会計と1件の公営企業会計の予算を提出いたしております。

競輪事業特別会計補正予算では、一昨年10月のリニューアルオープンから、ことし4月の競輪場公園の新設など新たなファン層の獲得と、ナイター競輪やミッドナイト競輪等の開催による販売機会の拡大により収益が向上した結果、実に17年ぶりとなる一般会計への繰出金等を計上いたしております。

また、さきの議会以降、緊急に決定を要した武雄小学校のブロック塀の撤去等に要する「平成30年度武雄市一般会計補正予算(第3回)」について7月4日付で、災害復旧に要する「平成30年度武雄市一般会計補正予算(第4回)」について7月19日付で専決処分を行いましたので、これについて承認を求める議案と交通事故による損害賠償に係る専決処分の報告をいたしております。

以上、よろしく御審議賜りますようお願い申し上げます。

議長／日程第5．教育長の教育に関する報告を求めます。

浦郷教育長

浦郷教育長／おはようございます。

教育に関する報告を申し上げます。

初めに8月19日におきました列車事故についてであります。

中学生にまで成長されたかけがえのない命が失われるという、あってはならない事故であります。

御遺族の皆様へ謹んでお悔やみを申し上げます。

今後は、これまで以上に事故防止に努めてまいります。

次に学校教育について申し上げます。

I C T教育につきましては、8月2日、3日の2日間、大阪で開催された「関西I C T教育

展」に、武雄市のプログラミング教育等、これまでの取り組みを発表いたしました。

官民一体型学校づくりにつきましては、10月からの武雄小学校での開校に向け、地区説明会を行っております。

ことしで5年目となる「たけおのこども会議」につきましては、8月23日に開催し、市内全小学校の代表児童が「電子メディアとの付き合い方を見直そう」をテーマに議論を行い、それぞれが学校での取り組みを発表しました。

「ノーテレビ・ノーゲームデー」、「標語募集」を全市的に取り組もうと決議されました。

ことしは武雄地区において、7月24日に九州算数・数学教育研究大会、7月31日に九州地区難聴・言語障害教育研究大会が行われ、多くの関係者が猛暑の中お集まりになりました。学校施設の整備につきましては、北方小学校及び武雄北中学校の教室棟の大規模改造工事を夏休み期間中から進めているところですが、北方小学校については、夏休み終了後の残暑対策として、エアコンの仮設置を行いました。

また、大阪北部地震におけるブロック塀の倒壊事故発生に伴い、山内東小学校及び武雄小学校においてブロック塀の撤去等の対応を行い、学校内の安全対策に努めております。

次に、子育て関係について申し上げます。

保育士の育成を促す「潜在保育者のための再就職セミナー」を7月23日から行っております。12月までの全15回の開催を予定しており、17名の申し込みがありました。

保育現場復帰を期待しているところです。

4月から実施しております病児・病後児保育事業につきましては、これまで延べ約100名のお子様に利用いただいております。

今後も同事業の周知に努め、利用促進を図りたいと考えております。

続きまして、生涯学習について申し上げます。

夏休み前には、親元を離れ共同生活をしながら学校に通う「通学合宿」体験、夏休みに入り、各学校・地域での「宿泊学習」や「北海道雄武町との児童交流」、「周防大島交流団派遣事業」、「わんぱくスクール青島キャンプ」、「陸前高田市東日本大震災被災地視察」などが行なわれ、暑い中でも子どもたちは元気に頑張ってくれました。

また、北方町各自治公民館での「夏休み地域子ども教室」や川良地区での「なかよし川良っ子」、中野区自治公民館での「子どもと大人の中野交流塾」など、地域の皆さんが、勉強や遊びを通して、子どもたちの成長に積極的にかかわっていただきました。

これらの体験学習や集団生活で、仲間づくりや地域の人たちとの交流を深め、自立心や思いやりといった豊かな人間性の創造と「生きる力」を育むことができたものと思っております。秋田竿燈まつりの訪問団については、8月4日から6日までの3日間、秋田市の多くの皆様の真心に触れ、先人の遺徳に学ぶ貴重な体験となりました。

図書館・歴史資料館では、7月28日、29日には夏休み「子ども講座」として、読書感想文、

読書感想画の描き方講座を開催し、多くの子どもたちに参加いただきました。

一部つけ加えさせていただきます。

こども図書館では、開館以来、予想以上の約3倍の来館者があり、8月24日30万人目の来館記念セレモニーを行ったところであります。

昨年度に実施いたしました教育委員会事業について、評価委員会から意見書が提出されましたので、今議会に報告申し上げ、その後、市民の皆様に公表することといたしております。

以上、教育に関する報告をいたしました。

なお、6月から8月までの3か月間に実施いたしました主な行事等につきましては、別紙一覧表にお示ししたとおりでありますのでごらんください。

今後とも、さらなる御指導・御鞭撻をお願い申し上げまして、教育に関する報告とさせていただきます。

議長／以上で、本日の日程は終了いたしました。

本日はこれにて散会いたします。